



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月5日

上場会社名 立川ブラインド工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7989 URL http://www.blind.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)立川 光威
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)金箱 聡 (TEL)03(5484)6142
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月5日 配当支払開始予定日 平成26年9月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	19,918	6.0	1,582	68.7	1,596	59.2	862	72.2
25年12月期第2四半期	18,794	△0.6	937	△2.5	1,002	2.2	501	42.0

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 842百万円(15.8%) 25年12月期第2四半期 727百万円(58.1%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年12月期第2四半期	44	34	—	—
25年12月期第2四半期	25	75	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	45,698	63.3	33,086	63.3	—	—
25年12月期	45,559	61.9	32,364	61.9	—	—

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 28,917百万円 25年12月期 28,216百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
25年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00	—
26年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00	—
26年12月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	40,200	4.0	2,050	8.2	2,120	4.4	1,030	4.8	52	92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年12月期2Q	20,763,600株	25年12月期	20,763,600株
26年12月期2Q	1,301,658株	25年12月期	1,301,384株
26年12月期2Q	19,462,055株	25年12月期2Q	19,462,775株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
（継続企業の前提に関する注記）	9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	9
（セグメント情報等）	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種経済政策の効果により、企業収益が改善し、個人消費においても消費増税に伴う駆け込み需要の反動の持ち直しがみられましたが、新興国の成長鈍化等の海外景気の下振れリスク等があり、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、住宅ローン減税の拡充や消費増税に伴う駆け込み需要等の要因により、春先までは堅調に推移しましたが、3月以降住宅着工戸数が前年同期比マイナスに転じるなど、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況でありました。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、新製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低減活動や生産性の向上を継続し、収益改善に取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、製品の付加価値を高める開発を進めるとともに、営業提案力を強化し、受注拡大に努めてまいりました。

減速機関連事業においては、顧客要求に沿った製品を積極的に提案するとともに、顧客拡大を目指して営業活動に力を入れてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は19,918百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は1,582百万円（前年同期比68.7%増）、経常利益は1,596百万円（前年同期比59.2%増）、四半期純利益は862百万円（前年同期比72.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[室内外装品関連事業]

高い遮蔽性が好評の高機能ブラインド「パーフェクトシルキー」において、ブラインドの基本性能「採光・遮蔽」に加え、「上部採光」「下部採光」と3つのスタイルへの切り替えが出来る「スリーウェイ」を発売したほか、小さいお子様がいらっしゃるご家庭や施設でも安心してご使用していただけるカーテンアクセサリ「チャイルドセーフティー房掛・タッセル」を発売するなど、顧客満足度の向上と製品の安全対策にも取り組んでまいりました。（同製品は「第8回キッズデザイン賞」を受賞しました。）

また、住宅の窓まわりにおすすめの製品を1冊にまとめた販促物「ホームセレクションブック」を作成し、市場拡大に取り組んだほか、5月から全国30都市において「Nextーより快適な居住空間へー」をテーマとした新製品発表会を開催し、新製品等の早期市場浸透に取り組んでまいりました。

以上により、売上高は17,330百万円（前年同期比5.1%増）となり、営業利益につきましては、コスト低減活動等による一層の収益改善に努めた結果、1,443百万円（前年同期比64.0%増）となりました。

[駐車場装置関連事業]

大型物件の新設着工が伸び悩む中、ユーザー別の提案型営業を強化し、メンテナンス部門が順調に推移したことにより、売上高は943百万円（前年同期比5.2%増）となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減に努めましたが、材料費及び外注費の高騰を補えず、34百万円の損失（前年同期は21百万円の利益）となりました。

[減速機関連事業]

首都圏で開催された展示会に出展するなど、顧客ニーズの把握や製品認知度の向上に努め、積極的な営業活動を展開したことにより、売上高は1,644百万円（前年同期比17.5%増）となりました。営業利益につきましては、売上高増加に加え、原価低減に努めたことにより、174百万円（前年同期比387.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は45,698百万円で、前連結会計年度末と比較し138百万円の増加となりました。

(資産)

流動資産は28,360百万円で、前連結会計年度末と比較し448百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、たな卸資産が増加したことによるものであります。

固定資産は17,338百万円で、前連結会計年度末と比較し309百万円の減少となりました。これは主に、減価償却等による有形固定資産の減少および保有株式の時価の下落等による投資有価証券の減少によるものであります。

(負債)

負債は12,612百万円で、前連結会計年度末と比較し583百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、未払金および退職給付引当金が減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は33,086百万円で、前連結会計年度末と比較し722百万円の増加となりました。これは主に、四半期純利益によるものであります。なお、自己資本比率は63.3%と、前連結会計年度末と比較し、1.4ポイントの増加となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ49百万円増加し、9,014百万円となりました。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動による資金は、574百万円の増加(前年同期は695百万円の増加)となりました。

これは税金等調整前四半期純利益1,594百万円に対し、法人税等の支払額509百万円、売上債権の増加額309百万円、たな卸資産の増加額306百万円等による減少があった一方で、減価償却費448百万円等による増加があったことによるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動による資金は、345百万円の減少(前年同期は597百万円の減少)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出296百万円、無形固定資産の取得による支出35百万円等があったことによるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動による資金は、165百万円の減少(前年同期は164百万円の減少)となりました。

これは主に、配当金の支払い119百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、経済政策や金融政策の効果等を背景に、景気の回復基調が続くことが期待されますが、海外景気の下振れなど、景気を下押しするリスクが存在し、先行き不透明感が続くものと予想されます。

このような環境の下、引き続きお客様の多様なニーズに応えるため、積極的な製品開発を図るとともに、新製品発表会等を通して効果的な販促活動を行い、さらなる売上向上及び収益確保に努めてまいります。

これらを踏まえ、平成26年12月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点において平成26年2月7日に公表しました予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,025,802	9,075,170
受取手形及び売掛金	12,842,850	13,080,033
商品及び製品	635,290	585,462
仕掛品	1,190,867	1,295,638
未成工事支出金	67,082	99,438
原材料及び貯蔵品	2,956,690	3,167,569
その他	1,203,405	1,068,628
貸倒引当金	△10,139	△11,664
流動資産合計	27,911,849	28,360,276
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,652,581	12,652,886
減価償却累計額	△7,978,675	△8,120,297
建物及び構築物(純額)	4,673,905	4,532,588
土地	7,273,085	7,273,085
その他	14,376,116	14,464,032
減価償却累計額	△12,953,756	△13,105,834
その他(純額)	1,422,360	1,358,198
有形固定資産合計	13,369,352	13,163,872
無形固定資産	523,688	500,547
投資その他の資産		
投資有価証券	1,953,425	1,889,311
その他	1,860,157	1,842,668
貸倒引当金	△58,648	△57,870
投資その他の資産合計	3,754,934	3,674,110
固定資産合計	17,647,975	17,338,530
資産合計	45,559,825	45,698,807

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,824,183	6,685,554
未払法人税等	498,862	544,691
賞与引当金	186,358	204,357
役員賞与引当金	53,940	26,652
製品保証引当金	22,493	44,581
その他	2,171,801	1,856,458
流動負債合計	9,757,639	9,362,295
固定負債		
退職給付引当金	2,916,535	2,753,785
役員退職慰労引当金	305,835	323,955
その他	215,583	172,503
固定負債合計	3,437,954	3,250,244
負債合計	13,195,594	12,612,539
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,000	4,395,000
利益剰余金	19,639,199	20,404,792
自己株式	△666,599	△666,738
株主資本合計	27,842,600	28,608,054
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	318,649	277,863
繰延ヘッジ損益	4,481	△505
為替換算調整勘定	51,019	32,314
その他の包括利益累計額合計	374,150	309,672
少数株主持分	4,147,479	4,168,540
純資産合計	32,364,231	33,086,268
負債純資産合計	45,559,825	45,698,807

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	18,794,171	19,918,344
売上原価	10,975,804	11,312,466
売上総利益	7,818,367	8,605,878
販売費及び一般管理費	6,880,493	7,023,354
営業利益	937,873	1,582,524
営業外収益		
受取利息	1,411	1,547
受取配当金	24,037	25,592
不動産賃貸料	13,627	18,817
為替差益	38,061	-
その他	44,560	36,605
営業外収益合計	121,697	82,563
営業外費用		
支払利息	12	15
手形売却損	13,344	9,227
売上割引	37,707	41,587
為替差損	-	11,050
その他	5,679	7,071
営業外費用合計	56,744	68,952
経常利益	1,002,827	1,596,134
特別利益		
固定資産売却益	248	339
特別利益合計	248	339
特別損失		
固定資産除売却損	3,396	1,770
特別損失合計	3,396	1,770
税金等調整前四半期純利益	999,679	1,594,704
法人税、住民税及び事業税	335,922	554,458
法人税等調整額	140,245	133,007
法人税等合計	476,167	687,466
少数株主損益調整前四半期純利益	523,512	907,238
少数株主利益	22,289	44,333
四半期純利益	501,222	862,904

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	523,512	907,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	169,150	△41,480
繰延ヘッジ損益	△1,349	△4,987
為替換算調整勘定	35,886	△18,704
その他の包括利益合計	203,687	△65,172
四半期包括利益	727,199	842,065
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	694,599	798,426
少数株主に係る四半期包括利益	32,600	43,638

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	999,679	1,594,704
減価償却費	463,935	448,030
負ののれん償却額	△711	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	48,180	17,998
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△35,007	△27,288
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△135,567	△162,750
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	530	18,120
製品保証引当金の増減額(△は減少)	630	22,087
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△30,488	747
固定資産除売却損益(△は益)	3,147	1,430
受取利息及び受取配当金	△25,448	△27,140
支払利息	12	15
為替差損益(△は益)	△3,656	19,997
売上債権の増減額(△は増加)	△192,427	△309,394
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,502	△306,576
仕入債務の増減額(△は減少)	211,712	△250,355
その他	△213,237	16,310
小計	1,088,780	1,055,938
利息及び配当金の受取額	25,463	27,152
利息の支払額	△6	△26
法人税等の支払額	△422,123	△509,026
法人税等の還付額	3,508	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	695,621	574,038
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△445,420	△296,160
有形固定資産の売却による収入	315	340
無形固定資産の取得による支出	△154,964	△35,873
投資有価証券の取得による支出	△297	△296
投資その他の資産の増減額(△は増加)	3,238	△13,674
定期預金の純増減額(△は増加)	△16	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△597,145	△345,667
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△43,834	△45,754
配当金の支払額	△98,028	△97,380
少数株主への配当金の支払額	△22,676	△22,594
その他	△116	△140
財務活動によるキャッシュ・フロー	△164,655	△165,870
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,118	△13,134
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△63,061	49,366
現金及び現金同等物の期首残高	8,816,373	8,965,297
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,753,312	9,014,663

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	16,496,893	897,437	1,399,840	18,794,171	—	18,794,171
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	23,078	23,078	△23,078	—
計	16,496,893	897,437	1,422,919	18,817,250	△23,078	18,794,171
セグメント利益	880,219	21,913	35,740	937,873	—	937,873

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	17,330,219	943,885	1,644,238	19,918,344	—	19,918,344
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	31,124	31,124	△31,124	—
計	17,330,219	943,885	1,675,363	19,949,469	△31,124	19,918,344
セグメント利益又は損失(△)	1,443,159	△34,932	174,297	1,582,524	—	1,582,524

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。